

総務文教常任委員会審査日程

日 時	平成30年3月13日（火） 一般会計予算決算常任委員会 総務文教分科会終了後
場 所	第2委員会室

～審査内容～

- 1 請願第1号 埴生地区複合施設建設に伴うJアラート設置について
- 2 閉会中の継続調査事項について

山 総 第 2 7 6 3 号

平成30年(2018年)3月6日

山陽小野田市埴生地区自治会協議会

会長 水田 三代春 様

山陽小野田市長 藤 田 剛 二

埴生地区複合施設建設に伴うJアラートの設置について(回答)

早春の候、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

平素から、市政各般にわたり、格別の御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、御要望の件について、下記のとおり回答します。

記

Jアラートとは、全国瞬時警報システムとも言われ、通信衛星と市町村の同報系防災行政無線や有線放送電話を利用し、緊急情報を住民へ瞬時に伝達する国のシステムです。その最大の特徴は、特に対処に時間的余裕がない弾道ミサイル攻撃や大規模な自然災害などについての情報を、「国から住民まで直接瞬時に」伝達することができるという点にあります。

本市におきましては、このJアラートを通じて得た情報を屋外スピーカー4か所から伝達しているところですが、民間携帯会社においても会社ごとに緊急速報メールとして配信しております。更にJアラートの情報を受けて、防災ラジオ、防災メール等を通じても伝達をしているところです。

御要望の埴生地区複合施設建設に伴うJアラート設置についてですが、屋外スピーカーの有効範囲は、おおむね半径400メートルであり、風向き、周囲の生活音、建物の防音性等によりその範囲が著しく低下します。この屋外スピーカーを市全体へ整備するには、かなりの数を設置する必要があり、その整備費用が膨大なものとなることから、今後の整備については考えておりません。

本市の災害に対応する情報伝達の手段については、第一に普及率が90パー

セントを超える携帯電話を活用し、一斉に緊急情報を迅速かつ正確に伝達することができる各携帯電話会社による「エリアメール」「緊急速報メール」と市からの「防災メール」を、次に、携帯電話をお持ちでない方には、市で配布している防災ラジオによる情報伝達を考えております。今後は、この防災ラジオにJアラートを連動させて、防災ラジオから緊急情報を瞬時に伝達することを検討しているところです。まずは防災メールの登録や防災ラジオの普及の推進を確実に進めることで、全市民に対する情報伝達を徹底していきたいと考えております。

今後も市民の安全の確保に向けて努力してまいりますので御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

山陽小野田市総務部総務課危機管理室

〒756-8601

山陽小野田市日の出一丁目1番1号

TEL:(0836)82-1122 FAX(0836)83-2604

閉会中の継続調査事項について

委員会名	調査事項	調査期間
総務文教常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災に関すること。 ・ 財政に関すること。 ・ 地域振興、観光に関すること。 ・ 教育、文化等に関すること。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 公共施設・教育施設に関すること。 (2) 学校給食に関すること。 (3) 施設一体型小中連携校及び小中一貫校に関すること。 ・ 入札に関すること。 ・ まち・ひと・しごと創生総合戦略に関すること。 	平成30年6 月定例会前日 まで継続して 閉会中調査す る。